

研究課題名	眼軸長伸長に伴う眼底微細構造変化の解明
研究責任者名	医歯薬保健学研究科 視覚病態学 教授 氏名 木内 良明
研究期間	2019年8月19日(倫理委員会承認後)～2026年3月31日
対象者	2009年1月～2018年12月の間に、広島大学病院眼科ですべての種類緑内障患者と正常眼を有する患者のうち、眼底写真と緑内障 OCT 検査が半年以内に施行されている患者です。
意義・目的	近視は、主に眼球が後ろ側に伸びること（眼軸長の伸長）で進行してきます。この眼軸長の伸長により、眼底の神経や血管が変化することが分かっています。日本は世界で最も近視の多い国ですが、この成長による眼底の変化は今まで調査されていません。光干渉断層計（OCT）は、弱い光を当てただけで眼底の構造を画像化できる機械です。眼軸長の伸長による眼底の変化は、近視の進行だけではなく、緑内障や網膜剥離などの発症にも関係することが分かってきました。そのため、成長期に眼底がどのように変化するかを調べることで、近視および病気の発症予防に役立てようと考えています。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は緑内障患者の眼圧値・病型・年齢・屈折値・光干渉断層計による網膜神経線維層厚、角膜計測パラメーター、眼底写真です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関	鹿児島大学附属病院、島根大学医学部附属病院、松江赤十字病院眼科、町立飯南病院眼科外来、東京大学医学部附属病院、自治医科大学附属病院、Moorfields Eye Hospital 眼科研究室、株式会社 Queue 研究室  （鹿児島大学（研究担当者 山下 高明）、東京大学（研究担当者 朝岡 亮）が解析します）
試料・情報の管理責任者	鹿児島大学医歯学総合研究科先進治療科学専攻感覚器病学講座眼科学分野 教授 坂本 泰二
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5247 広島大学 医歯薬保健学研究科 視覚病態学 職名 大学院生 徳毛 花菜